

事業所における自己評価結果（公表）

公表: 令和5年8月1日

事業所名 WorkshopRNC

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点/課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		共生型のため子供と大人の人数割合によっては少し狭い
	②	職員の配置数は適切である				法令で必要とされる配置基準に従って人員配置を行っております
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			日々のミーティング、カンファレンスで情報共有を行い、目標と課題達成に向けて取り組んでおります
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		集計後活用する予定です
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	第三者による外部評価は行っておりません
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			毎週全スタッフでミーティングを行っている
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			お子さま、保護者様のご要望、ご意向を伺い、アセスメントシートを用いて課題を整理し、児童発達支援計画を作成しております
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している			○	標準化されたアセスメントツールを使用していませんが、個別の発達段階と行動の状況に応じたアセスメントを行っております
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			スタッフで話し合いプログラム立案を行っています
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			日々の活動では、個別の発達状況に合わせた活動を設定し提供しております。また、季節にちなんだ行事やイベントを実施しております
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している				
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	○			朝のミーティングで、支援内容、役割分担について共有しております
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		支援終了後の他の業務により、毎日振り返ることはできていませんが、週に1日以上は支援内容を振り返る時間を設け、課題等を確認しております	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			支援記録や日報で支援内容を記録し、支援につなげています

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点/課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標など
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			支援員がお子さまの活動の様子を観察して支援内容が適しているか相談しながら見直しを行っております
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			ガイドラインに示されている必要な項目を設定し、計画を立てております。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			担当者会議には、児童発達支援管理責任者またはお子さまの状況に精通した支援員が参加しております。参加できないときは、保護者様や相談員と連携し情報共有させていただきます
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			地域の保健・福祉サービスの機関と情報共有を行い、連携し支援を行えるよう努めております
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			○	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○	まだこのような事例がありません。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			グループ内の児童発達支援管理責任者の発達支援研修を受講しています
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○	今後このような機会をつくっていきたいと考えています
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している			○	
保	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			登所時、降所時に保護者様にお話しさせて頂いております。送迎車をご利用頂いている場合、お話しする時間がとりにくい状況にありますが、必要に応じ定期的に保護者様とお話しさせていただく機会を設けております。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○	
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			見学時、契約時に説明させて頂いております
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている				
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点/課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標など
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			相談窓口を設置し、契約時に説明させて頂いております
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			○	
	③⑤	個人情報に十分注意している	○			契約時に個人情報使用同意書の承諾を頂いております
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			お子さまに対して手話やサイン、絵カード等を活用し、意思疎通を図っております
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている				
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している				
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている				
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			事業所内自己チェックや研修、外部研修への参加を行ってまいります
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			契約時に説明し了承をいただいております。必要やむを得ない場合を除き、身体拘束を行いません 個別支援計画書に身体拘束の項目を明記し、保護者様に説明しご了承いただいております
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している				

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。